

## 学習指導案（商業科）

日時	令和○年○月○日○限		指導者	○○ ○○	
科目	ソフトウェア活用	使用教科書	ソフトウェア活用 (実教出版)	使用教材	Excel
クラス	○年○組 ○○科 選択○○名			使用教室	○○○○
単元名	第3章第1節表計算ソフトを用いた情報の集計と分析		本時の位置	7時間目/10時間	
本時の目標	様々なデータを目的におうじて集計・分析して適切に表現しよう				
評価の観点	●表計算ソフトウェアの特徴と活用方法について自ら学び、効果的な活用に粘り強く取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】				
	指導の内容・ねらい	学 習 活 動		指導上の留意点・観点別評価	
導入 5分	・前時の振り返りと本時の内容	・SUMIFS など集計に使える関数を確認する。			
展開 40分		・提供データの内容を確認する。			
	<p>Q. ある遊園地の1週間の入場データ（時間、曜日、大人人数、子供人数）を元に、「曜日を基準とした表」と、「時間を基準とした表」をそれぞれ作成してみよう。</p>				
	・提供データの内容から、それぞれの基準に応じて必要なデータを用いた表を作成する。	・提供データから、それぞれの基準に合わせた表を考え、関数を使用して集計する。	・表計算ソフトウェアの特徴と活用方法について自ら学び、効果的な活用に粘り強く取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】		
<p>Q. 作成した表を視覚的にわかりやすく表現するにはどのようなグラフが良いかを考え作成してみよう</p>					
	・先の間で、作成した表から適切なグラフを作成することができる。	・作成した表を活用してグラフを作成する。	・「時間を基準としたグラフ」と「曜日を基準としたグラフ」の2つのグラフについて、どのような違いがあるのかを考えるよう促す。答えが浮かばない生徒には「時間」と「曜日」の違いに着目させる。		
まとめ 5分	○本時のまとめ ○次週の予告 ・複数の条件が重なる集計について学ぶことを伝える。				